

HOT NEWS

都議会ネット

■2016年第4回東京都議会定例会、12月1日～15日。7日、代表質問、8日、一般質問。
■8日一般質問は、西崎光子(世田谷)。

地域ネット

八王子ネット

ウィークエンドフォーラム・過去に学ぼう歴史を知ろう 午前の部：浅川地下壕見学/午後の部：八王子空襲のおはなし
12月10日(土)◇午前の部9:30～12:00頃
集合場所：高尾駅南口改札口(JR中央線、京王線) 案内人：中田均(浅川地下壕保存をすすめる会) 参加費400円 保険加入のため要申込み ◇午後の部13:00～15:00
ギャラリー(高尾駅南口5分) おはなし：西山糸子 参加費：1ドリンク代+ネット会員200円、非会員300円 TEL042-623-8802

東大和ネット

どんなサービスを受けたい?誰が担う?これからの介護保険事業
12月11日(日)10:00～12:00 東大和市総合福祉センター「は〜とふる」多目的集会室(西武拝島線玉川上水駅北口) 講師：香丸真理子(ACT・人とまちづくり理事長) TEL042-567-1681

西東京ネット

NPOプラス・ド西東京9周年記念公演 尺八+鳴物×コントラバス+ピアノ：詩情と情熱のコンサート
12月16日(金)19:00～20:30 西東京市保谷こもれび小ホール(西武池袋線保谷駅南口徒歩15分またはバス) 出演：本間豊堂、秀-HIDE、峯ひろみ、カイドーユタカ 参加費1800円 主催：NPOプラス・ド西東京 TEL042-439-6353

府中ネット

ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」府中上映会&監督によるトーク
12月18日(日)13:45～16:30 ルミエール府中第1・第2会議室(京王線府中駅北口) トーク：リラン・バクレー監督 前売り800円、当日1000円 主催：「ザ・思いやり」上映府中実行委員会 TEL090-6034-6950(重田)

立川ネット

ドキュメンタリー映画「うまれる」上映会
2017年1月21日(土)10:00～12:00 立川女性総合センターアイム1Fホール(立川駅北口) 参加費：一般800円、小～高校生500円、障害者手帳をお持ちいただいた方無料 主催：立川地域協議会 TEL042-535-9110

2017東京都議会議員選挙 第一次候補予定者発表！ 自由・人権・平和、立憲デモクラシーを東京から回復するために

東京・生活者ネットワーク都議選選対長/都議会議員 西崎光子

11月12日、東京・生活者ネットワークは、来夏の都議会議員選挙にむけて政策発表集会を開催。当日は、「2017東京政策」(3面参照)の発表とともに、第一次候補予定者として、現職の山内玲子(国立市・国分寺市)、小松久子(杉並区)、新人の菊地靖枝(練馬区)の3人の擁立を発表した。

ナルド・トランプ氏勝利の報に世界が震撼した11月9日、共和系系の論文サイトが、就任後百日間に米・新大統領が打ち出しそうな外交政策を占う記事を掲載した。「温暖化対策パリ条約撤回」「イランと締結した核協約破棄」であり、「尖閣諸島は日米安保の対象地域としてきた姿勢を撤回」がそれに続く。5年前、石原元知事が突如買収を構想したことに端を発する尖閣問題が、ここにきて再び注目を集めそうな雲行きだ。領土問題を巡る交渉は偏狭なナショナリズムでは立ち行かないことは自明、外交問題は先行き不透明であり政治の混迷はいや増すことが予

想される。**第**二次安倍政権発足から4年。この間、国民の最後のセーフティネット・生活保護費を切り下げ、地方交付税削減による地方自治への介入、被害者を顧みない原発再稼働・輸出に加え武器輸出三原則見直しと続け、違憲と断じざるを得ない解釈改憲で集団的自衛権行使を正当化する「平和と安全保障関連法」を強行成立。一触即発の内戦が続く南スーダン自衛隊派遣に「駆けつけ警護」など新たな任務付与へと進めるなど、安倍政治の専制がピークに達している。「女性の活躍」「同一労働同一賃金」と、これまで生活者ネットが発してきたキーワー

ドが国政でも取り入れられたが、果たしてその内実は似て非なるもの、むしろ逆行の感が否めない。一握りの恵まれた女性たちの対極には、労働法・派遣法改正による非正規・低賃金の女性労働の増大がある。年金など社会保障が見直されているが改悪であってはならず、一人ひとりの生活保障、子育てや介護、住まいや医療などの支援・整備こそが急がれる。

都政の場では舛添前知事が噴出。4年間に3人も都知事が任期途中で辞任する有様だ。都政の停滞・迷走が続く中、今夏誕生した小池都政では、豊洲新市場の盛り土問題に明らかなる都庁の無責任・隠ぺい体質が表面化、信頼回復は容易ではない。徹底した情報公開と市民参加を担保することから始めねばならない。

都議会改革も大いに問われ、外視察廃止、費用弁償廃止、議員歳費削減などは議会が決

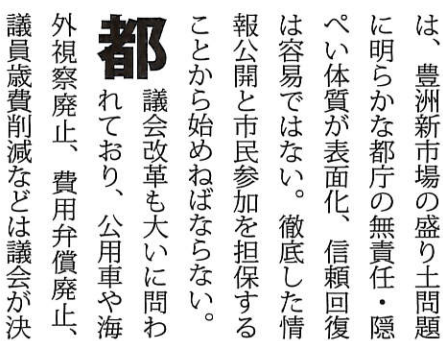
議すれば容易にかなう課題であり、問われるべきは真の都議会改革である。首長提案の議案にただ賛成・反対したり、理事者側に質問するだけの旧態依然とした議会から脱し、議員同士が活発に意見を闘わせ合い、条例の議員提案を行う討議型議会へと変えていくことだ。

東京五輪に向ける都市開発を注視するとともに、2025年問題をこそ見据え、福祉・環境・未来への希望をつなぐ教育、そして人口減少社会に備える東京のまちをつくるための活動を、自由・人権・平和、立憲デモクラシーを首都東京から回復するための闘

いを始めねばならない。生活者ネットは、都議会に議席増をめぐし、2017年都議選に臨みます。



2017年都議選候補予定者の、左から、小松久子(現職・杉並区)、山内れい子(現職・国立市/国分寺市)、きくちやすえ(新人・練馬区)。11月12日、新宿区内で開催された2017都議選政策発表集会で



2017都議選政策発表集会で、選対長としてアピールする東京・生活者ネットワーク代表委員/都議の西崎光子

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)**
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。